



# 学校だより6月号

【学校教育目標】「力を合わせ 笑顔が光る日限の子」

令和5年5月31日

横浜市立日限山小学校

〒233-0015

港南区日限山二丁目16番1

TEL 045(841)6561

## 大切にしたい「たてわり活動」「ペア活動」

副校長 江目 典子

桜からツツジに景色が移り変わったのもつかの間、色鮮やかな紫陽花の咲く季節となりました。

日限山小に異動して2か月。その間に、私は、学援隊の皆様やひざりんサポーターの皆様にお会いすることができました。そして、多くの方が日限山小の子どもたちを支え、応援してくださっていることを知り、とてもうれしく思いました。心より感謝申し上げます。



さて、日限山小学校では、「たてわり活動」や「ペア活動」等の異学年交流を通して、相手の立場や気持ちを思いやって行動することができる「優しさ」を育みたいと考え、5月末から「たてわり活動」をスタートしました。

「たてわり活動」では、上学年はリーダーとしてみんなをまとめ、リードする力が必要です。6年生は4月から、様々な場面で学校全体の仕事を任されたり、1年生の手伝いをしたりする中で、リーダーとしての自覚が高まってきました。今後、「たてわりあいさつ活動」や「たてわり全校遠足」と経験を重ね、頼れるリーダーに成長していくことと思います。

併せて、4年生や5年生がリーダーシップを発揮できる「ペア活動」も行っています。先日は、4年生と2年生のペア活動が行われました。給食当番をしていた4年生に「がんばってね。」と声をかけると、「任せて！」と自信たっぷりの返事が返ってきて、張り切って活動する様子が見ええました。

「たてわり活動」や「ペア活動」でがんばるのは、上学年の子どもたちだけではなく、下学年の子どもたちのがんばりも必要です。活動のめあて達成のために、下学年の子どもたちには、リーダーの話をよく聞いて行動し、協力することが求められます。リーダーシップと同じくらい、周りの協力が大事だということです。

チームワークの大切さを伝える「協力はかけ算」という言葉があります。協力は目には見えませんが、数値化もできませんが、「一人ひとりが協力することで、相乗効果が生まれ、かけ算のように大きな成果が得られる」という意味の言葉です。リーダーとフォロワー（周りの人）の両者がお互いの気持ちを思いやり、協力できれば、「たてわり活動」がより充実し、その中で「優しさ」も生まれ、子どもたちの豊かな成長につながると考えています。

しかし、たてわりという新たな集団の中で緊張したり、リーダーになることが大きなプレッシャーになったりして、「たてわり活動」を好まない子どももいます。その子なりの「たてわり活動」での人とのかわり方や楽しみ方が見つけられるように、個に応じて支援していきたいと思えます。

6月から8月の気温は平年並みか高くなると予想され、厳しい暑さになるとの予報が出ています。また、6月には、4年生と6年生の宿泊体験学習があり、水泳学習も始まります。お子様の体調を注意深く見守っていただき、安全に元気に過ごせるよう、ご協力をお願いいたします。